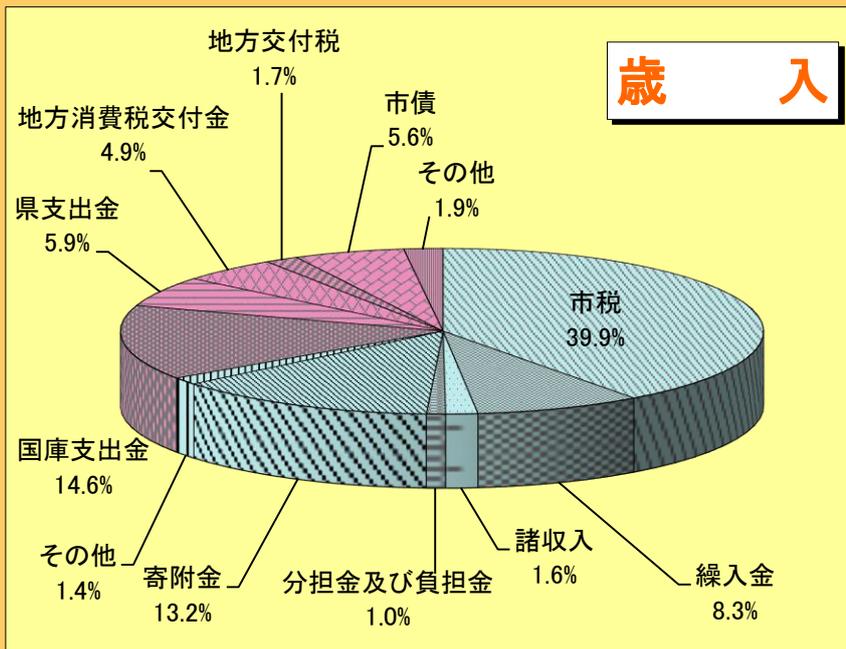


守谷市の市税

1. 一般会計予算のあらまし

令和4年度予算のうち、皆さんの生活に最も関係の深い一般会計当初予算額は、303億1,500万円ですが、このうち市税による収入は、121億744万円です。全体の39.9%を占めています。

一般会計歳入 303億1,500万円



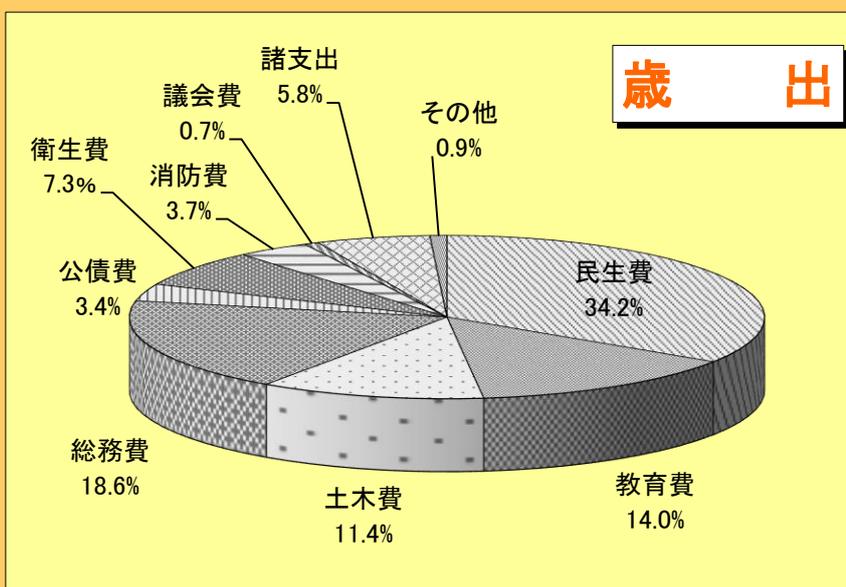
自主財源 (65.4%)

市税	121億744万円
繰入金	25億2,776万円
諸収入	4億8,450万円
分担金及び負担金	2億8,749万円
寄附金	40億円
その他	4億2,389万円

依存財源 (34.6%)

国庫支出金	44億1,921万円
県支出金	17億9,314万円
地方消費税交付金	14億8,493万円
地方交付税	5億836万円
市債	16億8,500万円
その他	5億9,328万円

一般会計歳出 303億1,500万円



民生費	103億6,915万円
教育費	42億2,921万円
土木費	34億6,916万円
総務費	56億3,032万円
公債費	10億3,264万円
衛生費	22億658万円
消防費	11億3,387万円
議会費	2億2,164万円
諸支出	17億6,019万円
その他(商工費等)	2億6,224万円

※ 各歳出科目の概要は以下のとおりです。

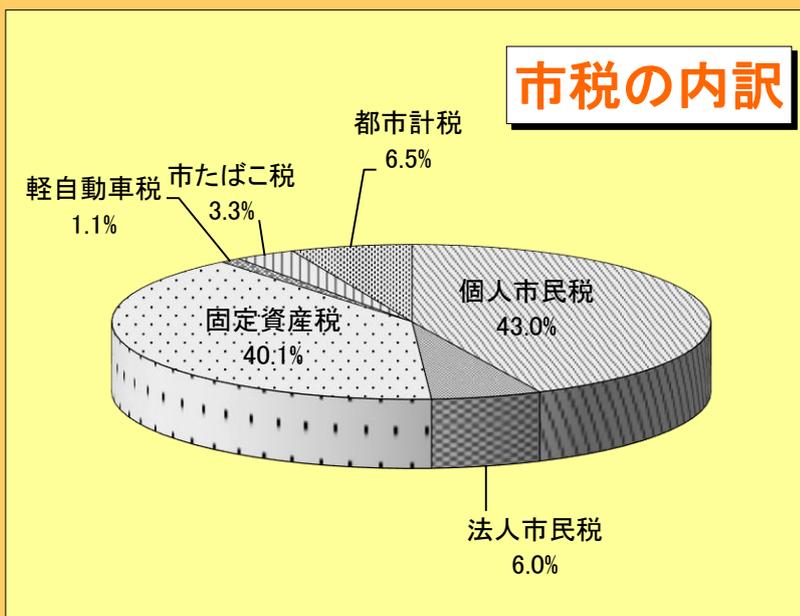
歳出科目	概要
民生費	子どもやお年寄り、障がいのある方等の福祉のために使われます。
教育費	学校の整備や生涯学習の推進等のために使われます。
土木費	道路や公園などの整備や維持補修等のために使われます。
総務費	戸籍や住民票、税等の事務、庁舎管理等のために使われます。
公債費	市の借入金の元金や利子を支払うために使われます。
衛生費	健康づくりやごみの処理、環境保全等のために使われます。
消防費	火事や救急など消防のために使われます。
議会費	市議会を運営するために使われます。
農林水産業費	農林水産業の振興等のために使われます。
諸支出金	基金への積立のために使われます。

2. 市税収入の内訳

市税の令和4年度当初予算の内訳をみますと、市民税が個人と法人を合わせて59億2,886万円、固定資産税が48億7,641万円となっており、この2税で市税の89.2%を占め、市税収入の中心となっています。

また、令和3年度当初予算の市税収入と比較して、7億5,136万円（約6.6%）の増となっています。

市税収入合計 121億 744万円



市税の内訳

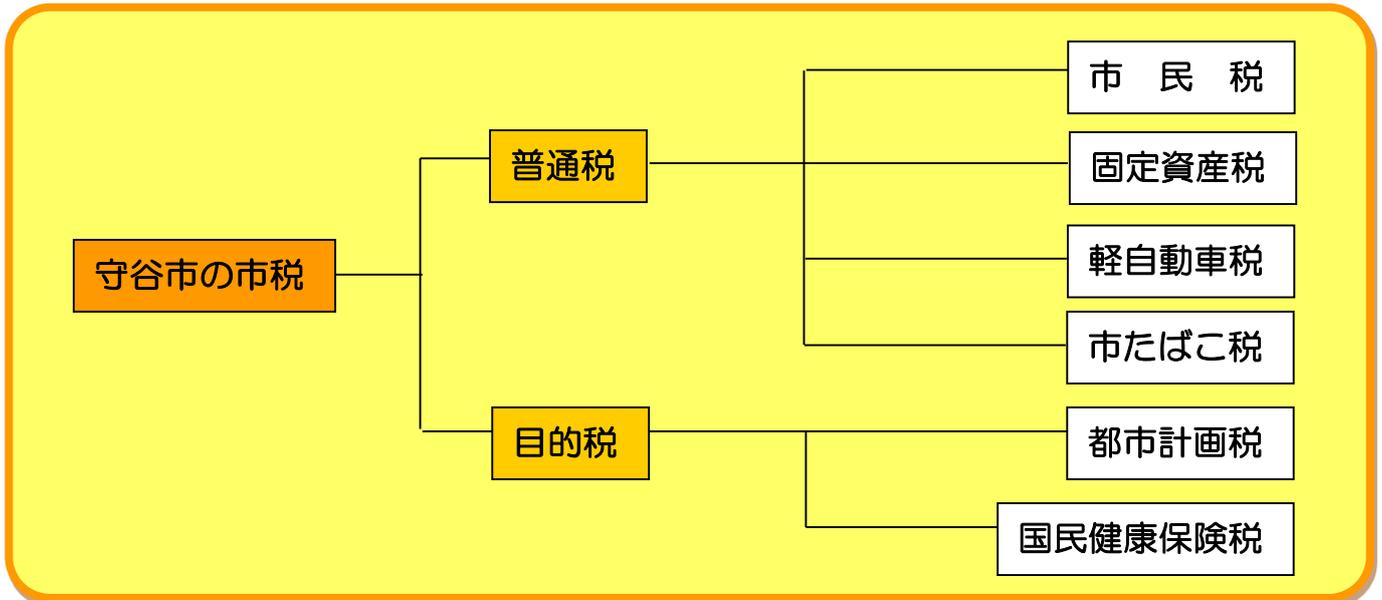
市民税	59億2,887万円
（個人市民税	51億4,901万円）
（法人市民税	7億7,986万円）
固定資産税	48億7,641万円
軽自動車税	1億3,872万円
市たばこ税	3億7,206万円
都市計画税	7億9,138万円

市税のあらまし

市税の種類

税金は、納める先によって、国税、県税、市（区町村）税の3つに区分されます。このうち市に納めていただくものが市税です。

守谷市で皆さんに納めていただいている市税には、次のようなものがあります。



普通税は、納められた税金の使いみちが特に定められていないので、どのような費用にも充てることができる税金です。

目的税は、納められた税金の使いみちが法律等によって定められている税金です。都市計画税は、下水道、生活道路等の都市計画施設の整備のために使われています。国民健康保険税は、国民健康保険加入者の健康増進や医療費に使われています。

市民税

市民税には、個人にかかる個人市民税と会社等の法人にかかる法人市民税の2種類があり、それぞれ、均等の税額によって納めていただく均等割と、所得に応じて納めていただく所得割（法人の場合は法人税割）からなります。

